

CONTENTS

- 1 中国人はどのように本を読んだか
外国語学部助教授：中 裕史
- 2 Essay ヴェルナー教授旧蔵コレクションについて
蔵書紹介：西フランク・初期フランス王国研究基礎史資料
外国語学部教授：岡地 稔
- 4 図書館利用講習会：ホームページを使いこなそう!!
閲覧・参考係：岩田真美
瀬戸図書館：濱島真由
- 6 学術論文の探し方
瀬戸図書館：濱島真由
- 8 データベースの紹介
電子情報係
- 9 万博：過去と未来
人文学部教授：小林博司
- 10 資料紹介：ガイドブックが新しくなりました!!
〔復刻版〕女性のみた近代（全25巻）受入係：堀尾純子
- 12 南山大学図書館 秋の企画展
The Scenes of "Sports" スポーツのある情景
秋学期 図書館利用講習会のお知らせ
お詫びと訂正／編集後記

中国人はどのように本を読んだか

中 裕史

ひとくちに読書法というのが本の読み方はじつにさまざまである。いま、『逆引き広辞苑』をばらばらとめくってみると、「読」の字が下につく熟語には、音読、黙読、多読、精読、熟読、素読、濫読、積ん読などがあり、「暗号解読」も含めると60もの語が並べられている。

ところで、読書といえばなんといっても中国が本場である。はるか周の時代にはやくも竹簡や木版に記された文字を読んでいた中国の人びとは、唯一のといっている情報源である書物をたいへん重要視した。為政者が自分たちに都合の悪い書物を焼き捨てるよう命じた「焚書」も、焼かれた書物には災難だが、それだけその重要性が認められていたことのあらわれといえるだろう。中国の人びとはその大切な書物を繰り返し、繰り返しして読んだ。『史記』には、『易』という経書をはなはだ好んだ孔子が、『易』を讀みて葦編三たび絶つと書かれている。「葦編」とは、なめし皮で竹簡を綴じ合わせることであるが、それが三度も切れてしまったというのである。筆者はこれでも幼少のころ野球少年のはしくれだったが、グラブの皮ひもが切れたりしたことは一度もなかったので、なめし皮が断ち切れるには何十度くらい、いや何百度くらい竹簡をひるげなければならないのか、まったく想像も出来ない。

閑話休題。中国の人びとの読書法は、大意を得る読み方と、一字一句ゆるがせにしない読み方とに大別される。前者の代表は東晋の陶淵明。「歸去來の辞」で知られる田園詩人陶淵明は、「読書を好むも、甚だしくは解するを求めず。意にかなうこと有るごとに、すなわち欣然として食を忘る」(『五柳先生伝』)とあるように、細部の解釈にはこだわらず、文章の大意をつかむ読み方をして、気に入った表現に出会うと食事をとるのも忘れるくらい喜んだという。これにたいして、「赤壁の賦」など詩人として、また書家としても知られる宋代の蘇軾は「旧書は百回読むも厭わず、熟読深思すれば子おのずから知る」(『安惇秀才の失解して西に帰るを送る』)といい、その弟の蘇轍も「読書百遍、経義おのずからあらわる」

(『樂城先生遺言』)とあって、百回も熟読すればその意味は理解できるものだという考え方を示している。陶淵明と蘇軾兄弟の読書にたいする態度の相違は、個人の資質や志向に負うところはもちろんあるだろうけれど、時代の空気というものも大きく与かっているようである。宋という時代は、長い中国の歴史のなかでも理屈の勝った時代だとされている。この時代に朱子学という学問体系を築いた朱熹もまた、「書は宜しくすくなくみるべくして、極めて熟するを要す」(『朱子語類』)とやはり熟読を重んじる立場をとっている。

「人生いろいろ」、読書法もいろいろあって差し支えあるまい。今に生きるわれわれも各人のしかたで読書にのぞめばよい。ただ、何か事にかこつけ、「敬してこれを遠ざ」ける(『論語』)ようなことがあってはならない。清朝末期に中国版学問のすすめ「勸学篇」を著した張之洞は、「記憶力がよくないことを言い訳にしてはならない」、「本がないとか、暇がないとか言い訳をしてはならない」(『輻軒語』)と述べて、読書を怠ることをかたく戒めている。読書は誰のためでもなく、自分のためにするのである。さて、引用がせっかく20世紀に近づいてきたというのに、ここで6世紀に逆戻りするのは申し訳ない次第であるが、北齊の顔之推は「家訓」のなかで読書の目的を明快に指摘している。「それ読書し学問する所以は、もと心を開き、目を明らめ、行いに利あらしめんと欲するのみ」。なにゆえ読書するのかというと、人は心を開いて楽しみ、これまで見えなかったものを見、これからの行動に役立てるためだというのだ。当今は書物だけが情報源という時代ではもはやないけれど、先人の体験や知恵がぎっしり詰まった書物を遠ざけてしまうのは、いかにも勿体ないし、損失である。

詩人の寺山修司は「書を捨てよ、町に出よう」といった。それをもじっていえばこうだろうか。「書を求めよ、図書館に行こう」と。

(Hiroshi NAKA：外国語学部助教授)

Essay

ヴェルナー教授旧蔵コレクションについて

岡地 稔

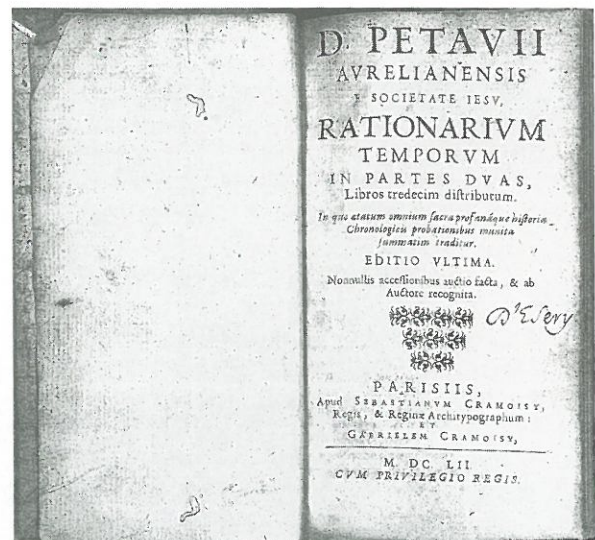
このたび南山大学図書館では、文部科学省研究設備整備費等補助金を得て、カール・フェルディナント・ヴェルナー教授旧蔵コレクションを所蔵することになりました。この機会をかりて同教授のこと、本コレクションのことを少しばかり紹介したいと思います。

ヴェルナー教授はドイツ人なのですが、1968年以来パリの「ドイツ歴史研究所」所長を30年近く務め、91年からはフランスの「文芸アカデミー」の会員となり、引退する2002年までパリを拠点にヨーロッパの歴史学会の第一線で活躍した研究者です。この間、西洋史研究年報『フランクシア』の創刊にあずかるとともに、代表作を挙げるにも苦勞するほどの、多数の著書・論文をものしています。古代末期～中世前期ヨーロッパ史研究の権威に位置づけられる研究者の一人であり、当然のことながら、日本の西洋中世史研究者の間でも広く知られる学者です。ヴェルナー教授の半世紀にもわたる旺盛な研究・執筆活動のいわば掉尾を飾ることになった大著『貴族の誕生』（1998年）にいたっては、日本の研究者をも含めて、早くも出版予告の段階から注目を集め、そこで提出された歴史像はあらためて研究者の分析対象になっているほどです。真の意味で「常に」彼我の「学会に刺激を与えてきた」（木下憲治氏の言）研究者です。

本コレクションは、この第一級のヨーロッパ史研究者の直近までの研究活動を支えてきた蔵書からなり、ヨーロッパ古代・中世の政治史、教会史、法制史、経済史その他の幅広い分野にわたる、約3300点の文献がおさめられています。引退とともに自分の研究を支えてきた文献をすべて惜しげもなく手放すこと、それは研究者にとっていろいろな意味で大いなる決断であったと思われませんが、ヴェルナー教授がそう決断した理由は定かではありません。ですが、そのおかげとっては変ですが、同教授が長年かかって収集した貴重な文献を今、遠く離れた日本で利用できるようになることは、われわれ、とりわけ、インターネット時代とはいえ文献を集めるのに相変わらず苦勞の絶えぬ

研究者にとって、きわめて幸いなことです。今後は、この「知識財」を保存しつつ、いかに広く勉学者の利用に供するか、という重い課題が本学図書館にゆだねられることとなります。関係各部署の皆様のご尽力・ご協力を切にお願いする次第です。

ところで本コレクションは上にも述べたように、研究者による専門書の収集の所産であり、趣味の収集家によるそれではありません。したがって、いわゆる稀覯本のたぐいは初めから期待されるものではないのですが、それでも一部に珍しい文献が見られます。



p. 3 下表にオルレアンのパタウィウスの著とされる『年代表』（1652）があります。縦14cm、横8cm、厚さ4cmほどの草表紙の小型本なのですが、小さな活字でぎっしりと書かれ、総ページ数が850ほどにもなる「大著」です。通例ディオニシウス・ペタウィウス（ドゥニ・プトー）（1583-1652）と称されるこの著者は、17世紀前半フランスのイエズス会士で、この時代の学者の常にもれず、神学者であり、人文主義者であり、そしてまた歴史家でもありました。「紀元前」（B.C.）という年代表記を初めて採用した人、といえは少しはわれわれの身近に感じられるかもしれません。『年代表』は1633年以降改訂を重ねてきた書物で、ヴェルナー教授旧蔵本はペタウィウスが亡くなる

年にパリで出版されたものであり、間違いなく「稀観本」に数えられるでしょう。

私にとって興味ぶかいのは、この著書の内容もさることながら、何故ヴェルナー教授がこの「稀観本」をもっていたか、ということです。

8世紀フランク王国での事蹟を伝える史料のうち、他の諸史料では見られぬ幾つかの記事をつたえる『ペタウィアヌス年代記』（『プトー年代記』）と名づけられた史料があります。1636年（17世紀！）にデュシェーヌという学者が、モー司教ジャン・デュ・ティレ（ヨハネス・ティリウス）がかつて所有していた手書本（ティリアヌス本）と、パリ高等法院のメンバーであり手書本収集家として知られたポール・プトー（パウルス・ペタウィウス）の、その息子アレクサンドル・プトー（アレクサンドルス・ペタウィウス）より入手した手書本（ペタウィアヌス本）から、つまり2つの全く別の史料から「編纂」して刊行した年代記で、原本たる手書本の行方はその後わからなくなっていました。ヴェルナー教授はカール大帝の生年に関して、これを747年とする新説を提起

するのですが、そのとき依拠したのがこの『ペタウィアヌス年代記』の記述でした。ただ上記の由来から、この年代記は信憑性の点で従来あまり重きをおかれていませんでした。しかしヴェルナー教授はパリのフランス国立図書館所蔵の、10世紀の写本と思われる、ラテン手書本（Bibliothèque nationale, ms. lat.）4995番が「ティリアヌス本」であることをつきとめ、これに基づき自説を展開することになったのです。思うに、ヴェルナー教授は今一つの「ペタウィアヌス本」についても、原本やその出所を捜しもとめ、そのための手懸かりを得るために、ポール・プトーの甥であり、しかも年代を主題とした作品を著しているディオニシウス・ペタウィウスの著作にあたらうとしたのでしょう。どうやら成果はあがらずに終わったようですが、研究に対する教授の真摯な、執拗なまでの取組み姿勢を見る思いがします。

ヴェルナー教授の思いの込められた本コレクションが有意に利用され、研究の発展に資することを祈念します。

(Minoru OKACHI：外国語学部教授)

蔵書紹介

西フランク・初期フランス王国研究基礎史資料

国王文書：Chartes et diplomes シリーズ

- Recueil des actes de Charles II le Chauve (840-877) (3Bde.)
- Recueil des actes de Louis II le Begue, Louis III et Carloman II (877-884)
- Recueil des actes d'Éudes (888-898)
- Recueil des actes de Charles III le Simple (893-923) (2Bde.)
- Recueil des actes de Robert I et de Raoul (922-936)
- Recueil des actes de Louis IV (936-954)
- Recueil des actes de Lotharius et Louis V (954-987)

基礎叙述：Annales de l'histoire de France a l'epoque Carolingienne シリーズ

- F. Lot et L. Halphen, Le règne de Charles le Chauve
- E. Favre, Éudes. Comte de Paris et roi de France
- A. Eckel, Charles le Simple
- Ph. Lauer, Robert I et Raoul de Bourgogne
- Ph. Lauer, Le règne de Louis IV d'outre-mer

古文書学

- Th. Sickel, Acta regum et imperatorum karolinorum. Die Urkunden der Karolinger (2Bde.)
- Th. Sickel, Beiträge zur Diplomatik

～欲しい資料が探せない…と困っているあなたへ～
図書館で資料を探すときの、ちょっとしたコツを伝授します。

バーチャル版 図書館利用講習会：ホームページを使いこなそう！！

Question1. 図書を探したいけど、探し方がわからないのですが…

Step 1 南山大学図書館の OPAC (オンライン目録) で検索してみましょ。

ヒットした! → 請求番号と配架場所をメモして、書架へ Go! 他キャンパス図書館の資料や南山短期大学の資料は取り寄せができます。

↓ なかった場合は次の Step へ!

Step 2 CAN 統合検索、豊田工大 OPAC で検索してみましょ。

ヒットした! → 愛知学院大学、中部大学、豊田工業大学の資料であれば、無料で取り寄せて利用することができます。資料が見つかったら、各カウンターへ申し込みましょ。

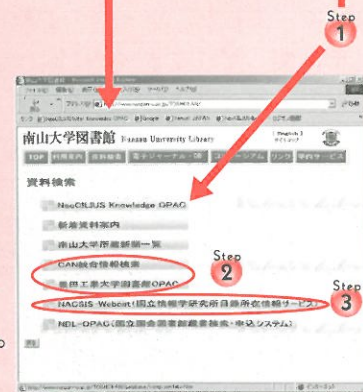
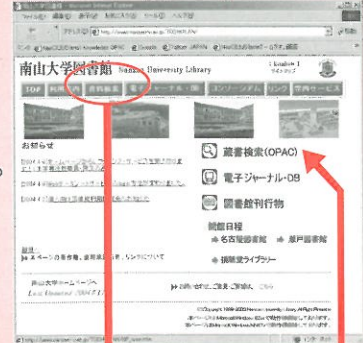
↓ なかった場合はさらに次の Step へ!

Step 3 NACSIS-Webcat で検索してみましょ。

国内の大学図書館・学術機関の所蔵が確認できます。近隣の大学にある場合は、学生証と紹介状(紹介状は不要の場合もあり)をもって直接出向いても OK。直接行くことが難しい場合は資料を取り寄せることもできますので、レファレンス・カウンターで申し込んでください。資料の送料等は利用者負担となります。

1985年以前に刊行された資料はカード目録でも検索してみてください!

<http://www.nanzan-u.ac.jp/TOSHOKAN/>



Question2. 雑誌論文の探し方がさっぱりわからない…どうすればいい?

Step 1 論文情報(論文名・著者・掲載雑誌名・巻号・掲載頁)がはっきりしていない場合は、まず論文情報を確認しましょ。

☆論文情報が確認できる便利なデータベースをご紹介します。

- ◇和雑誌◇ MAGAZINEPLUS (詳しい説明は P.6 へ)
- ◇洋雑誌◇ ProQuest Academic Research Library
EBSCOhost Academic Search Elite など

😊 ProQuest や EBSCOhost では、論文の抄録・全文まで入手できることもあります!

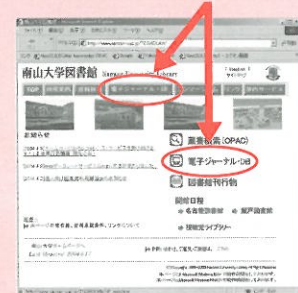
Step 2 掲載されている雑誌名がわかったら、南山大学図書館 OPAC で該当の雑誌が所蔵されているか検索しましょ。

ヒットした! → その雑誌があったとしても、自分が必要とする巻号があるとは限りません。そこが確認のポイントです!

必要とする巻号の所蔵が確認できたら、請求番号と配架場所をメモして、書架へ Go! 他キャンパス図書館の雑誌の場合は取り寄せができます。

↓ なかった場合はさらに次の Step へ! ↪ ただし、一部の雑誌の最新号は取り寄せできません。

どちらからでも入れます。




Step 3 NACSIS-Webcat で検索してみましょう。

近隣の大学にある場合は、学生証と紹介状（紹介状は不要の場合もあり）をもって直接出向いてもOK。直接行くことが難しい場合は、論文の複写を取り寄せることもできますので、レファレンス・カウンターに申し込んでください。複写料、送料等は利用者負担となります。

Question3. 新聞記事を探したいのですが…

【新聞名や年月日がわかっている場合】

まずは南山大学図書館の所蔵を確認しましょう。新聞の所蔵は、『南山大学図書館所蔵新聞一覧』で確認することができます。  本学で所蔵している新聞の所蔵の幅（〇〇年-××年）、媒体（原紙、マイクロフィルムなど）、所在、請求番号といった情報が掲載されています。

所蔵あり⇒媒体が原紙、マイクロフィルムの場合は該当の書架へGo! 他キャンパス図書館の製本新聞・マイクロフィルムは取り寄せができます。CD-ROM、データベースであれば館内にあるCD-ROM 端末、インターネット端末で検索しましょう!

所蔵なし⇒レファレンス・カウンターにご相談ください。調査します。

【キーワードやテーマから記事を探したい場合】

比較的新しい記事については、データベースを使って全文を入手することができます。図書館ホームページから利用できる新聞記事全文データベースを以下にご紹介します。

◇国内の新聞◇

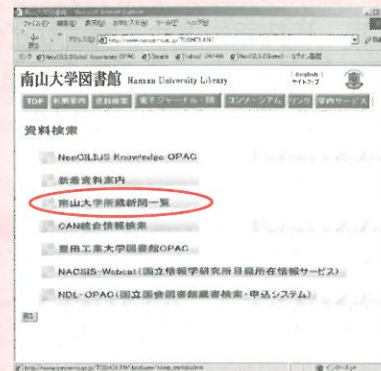
- ヨミダス文書館（読売新聞）
- 聞蔵 DNA for Libraries（朝日新聞）
- 中日新聞・東京新聞記事データベース（中日新聞・東京新聞）
- 毎日 News パック（毎日新聞）、日経テレコン21（日経四紙）

◇国外の新聞◇

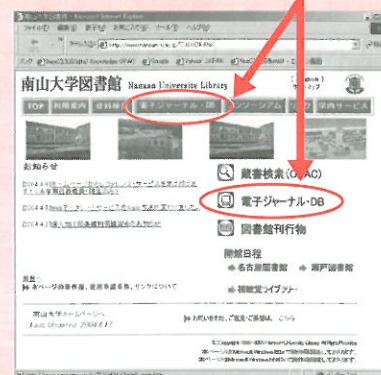
- ProQuest Newspapers（Financial Times, New York Times, Sunday Times, Times of London）
- Le Monde

* 収録対象年月については、各データベースのログイン頁にある説明を参照してください。

【資料検索】の画面



どちらからでも入れます。



実際に資料を探そうとしたけれどやっぱりわからなかった…という場合には、気軽にレファレンス・カウンターにお問い合わせください。また、資料検索の方法やデータベースの使い方について詳しく知りたいという方は、個人向け図書館利用講習会（P.12参照）に参加してみませんか？ 図書館では皆さんの参加をお待ちしています！

（Mami IWATA：閲覧・参考係 岩田 真美）

卒論・レポート作成のために必読！ 学術論文の探し方

レポートや卒業論文は、ある一定のテーマについて問題を提起し、自分なりに考察した結果、何らかの結論を提示するものです。作成する際には、他の人が執筆した学術論文（以下論文と略）などを参考にすることも必要になるでしょう。P. 4、5 では、資料集めのポイントとして、図書・雑誌論文・新聞について、探し方のコツを案内していますのでご覧ください。ここでは、もう少し詳しい論文の探し方を説明します。

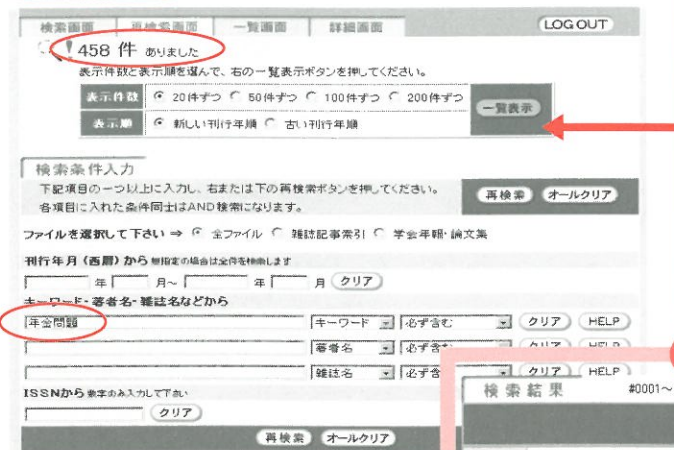
MAGAZINEPLUS

国内最大の雑誌記事索引データベースです。約672万件の雑誌論文情報を収録しているほか、学会年報・研究報告書や一般誌などの論文情報も検索できます。収録年代は1975年から現在までです。

アクセス 図書館 HP → 電子ジャーナル・DB → (名古屋図書館 or 瀬戸図書館) → [全分野] MAGAZINEPLUS

*所属するキャンパスの図書館を選択して下さい。

① 検索画面



① テーマに関するキーワード（例：年金問題）を入力し、[検索] ボタンを押すとヒット件数が表示されます。2語以上で検索する場合は、入力するキーワードとキーワードの間にスペース（空白）を入れます。
 ② [一覧表示] ボタンを押すと、結果一覧が表示されます。論文名（左）と掲載雑誌名（右）が表示されます。

② 結果一覧

検索結果 #0001~#0020 (458 件中)	
[すべて表示] [チェックしたものを表示] [オールクリア]	
1	年金「改革」少子高齢化社会をなぜ批判す 社会保障 (中央)
2	緊急特集 県選出全国会議員に「年金問題」 財界ふくしま (
3	時評2004 年金問題の与野党対立をかみあわ 中央公論 DSSN
4	年金問題の与野党対立をかみあわせるには 中央公論 DSSN

③ 詳細画面

【標題】
論文名です。
【誌名等】
論文が掲載されている雑誌名や巻号、掲載頁等のことです。
【備考】
南山大学の請求番号ではありません。

検索結果 #0001~#0005 (5 件中)	
1	標題 年金「改革」少子高齢化社会をなぜ批判するのか——年金問題解決の道は男女平等女性への差別なくす社会づくり 橋本宏子(元熊本学園大学教授) 著者名 橋本宏子, 堀尾謙 誌名等 社会保障 (中央社会保険推進協議会 中央社会保険推進協議会 あげび書房) 36 2004. 初夏 p22~27 備考 NDL請求記号Z71-E944【日外整理No. ZV192920】
2	標題 緊急特集 県選出全国会議員に「年金問題」を聞く 誌名等 財界ふくしま (財界21) 33(6) 2004. 6 p19~25 備考 NDL請求記号Z4-395【日外整理No. ZV209715】
3	標題 時評2004 年金問題の与野党対立をかみあわせるには 著者名 飯尾潜 誌名等 中央公論 [DSSN:05296838] (中央公論新社) 119(6) 2004. 6 p32~35 南山大学OPAC 備考 NDL請求記号Z23-9【日外整理No. ZV176899】
4	標題 セミナー 年金問題を考える 誌名等 日本経済研究センター会報 [DSSN:02855917] (日本経済研究センター) 917 2004. 3 p22~29 南山大学OPAC 備考 NDL請求記号Z3-26【日外整理No. ZV99609】

③ 詳細画面では、標題・著者名・誌名等の情報を確認できます。
ポイント!!
 検索できるのは論文掲載雑誌名、巻号、掲載頁等の2次情報までで、論文そのものをこのデータベースで見ることができません。南山大学OPACのリンクボタンを押して論文が掲載されている雑誌を所蔵しているか調べてください。

注意 ISSN (International Standard Serial Number : 国際標準逐次刊行物番号) 南山大学OPACのリンクボタンは、所蔵の有無にかかわらず表示されます。なお、ISSNが付いていない雑誌やデータの不備により、リンクボタンが表示されない場合もあります。その場合は、NeoCILIUS Knowledge OPACで誌名から検索をして所蔵を調べてください。論文名を入力しても検索することはできません。

④ NeoCILIUS Knowledge OPAC 検索結果

詳細書誌／詳細所蔵(逐刊)

雑誌の所蔵番号(1冊)の詳細情報です。
詳細書誌、請求番号、送料、寄附、要約図書のタイトルを表示します。

項目名	内容
Div00011811	雑誌 和書
NACSIS ID	ANK0143750
印刷物	月刊
ISBN	05298808
巻名/著者	中央公論 / 中央公論社
出版地域	東京, 中央公論社, 1999-
形態	冊, 22cm
一冊注記	出版者変更 阪社→中央公論社
一冊注記	出版者変更 中央公論社→中央公論社
寄附情報	中央公論社
寄附機関	中央公論社
発行期間	14年1巻(昭和21)-
文種誌名	雑誌新誌 阪省雑誌 / 阪省雑誌社(ANK0208331)

所蔵種	請求番号	所蔵形式	所蔵巻次
名古屋	Z/031/C66	1948-2003 a) 11-25-7-9-11-12, b) 1-11-12, c) 1-2, 4-7-8-11, 6-10, 16-17-4, 7-12, 8-6, 8-12, 16-17-4	
入館誌	D-Z/031B/C66	1948-1985 (80C)	
瀬戸	Z/031/C66		

④雑誌を所蔵している場合

→所蔵巻号、所在、請求番号などの詳細がわかります

雑誌を所蔵していない場合

→“検索条件に当てはまる書誌はありません”と表示されます。

⑤該当巻の所蔵を確認後、棚に資料を取りに行きましょう。

MAGAZINEPLUS の表記 例 . 119(6) 2004.6 p32~35

Vol.119 no.6 2004年6月発行

※他キャンパスで所蔵している雑誌は NeoCILIUS Knowledge OPAC で取り寄せて、館内で閲覧することができます。

⑤

雑誌	巻号	年月	所在	状態	予約	滞り	予定日
●	Vol119, no.7	2004.07	瀬戸 閲覧室01 新書雑誌				
●	Vol119, no.7	2004.07	名古屋 閲覧室1F 未取本雑誌				
●	Vol119, no.6	2004.06	瀬戸 閲覧室01 新書雑誌				
●	Vol119, no.6	2004.06	名古屋 閲覧室1F 未取本雑誌				
●	Vol119, no.5	2004.05	瀬戸 閲覧室01 新書雑誌				
●	Vol119, no.5	2004.05	名古屋 閲覧室1F 未取本雑誌				
●	Vol119, no.4	2004.04	名古屋 閲覧室1F 未取本雑誌				

専任教職員、大学院生の方は図書館 HP の [学内サービス] から申し込むことができます。学外からもアクセスが可能ですので、ご利用ください。

また、図書館で所蔵していない雑誌については、論文を他機関（他大学）より約1~2週間で取り寄せすることができます。複写料と送料は申込者の負担になります。レファレンス・カウンターで受付していますので、論文収集の際にはぜひご利用ください。

なお、雑誌を刊行している機関が学会や大学の場合は、他のデータベースを利用することによって、論文そのものを入手できる場合があります。論文の取り寄せを申し込む前に、一度ご確認ください。

■ NACSIS-ELS ■

日本の学協会が発行する学術雑誌から論文記事を検索して出力することができます。無料の論文はそのまま Web 上で表示・印刷が可能です。有料の論文は利用者番号・パスワードの入力画面が表示されます。その場合は、図書館員による代行検索を行いますのでレファレンス・カウンターまでお越しください。なお、記事を表示するためには、NACSIS-ELS の HP からプラグインソフトウェアをダウンロードする必要があります。ダウンロード手順は HP で確認できますので説明を読んで行ってください。

アクセス 図書館 HP → 電子ジャーナル・DB → (名古屋図書館 or 瀬戸図書館) → [全分野] NACSIS-ELS

..... * 所属するキャンパスの図書館を選択して下さい。

論文名(キーワード)、著者名、雑誌名から検索ができます。掲載雑誌名や学会名が予め分かっている場合は、検索する前に「雑誌収録状況一覧」で有料・無料を確認することをお勧めします。

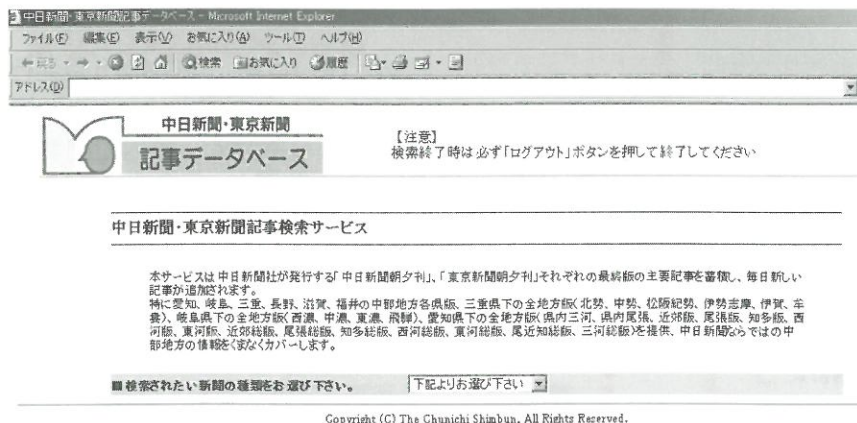
この他にも、論文を探すためのデータベースは図書館 HP からアクセスできます。利用方法については、レファレンス・カウンターへお問い合わせください。

(Mayu HAMAJIMA: 瀬戸図書館 濱島 真由)

データベースの紹介

2004年4月から、学内ネットワークを通じて新たに利用できるようになったデータベースを紹介いたします。アクセスするには、図書館 HP (<http://www.nanzan-u.ac.jp/TOSHOKAN/>) の【電子ジャーナル・DB】をクリックしてください。

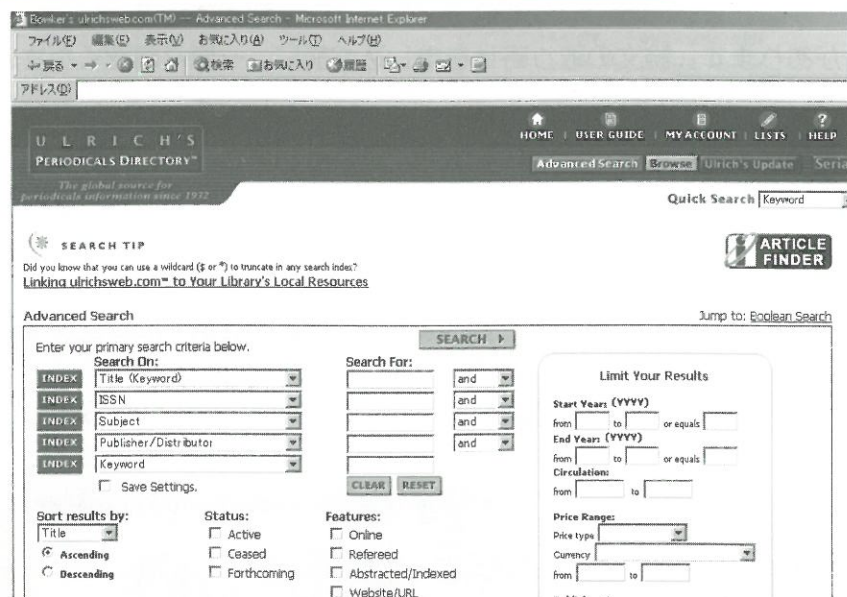
中日新聞・東京新聞記事データベース



概要

中日新聞社発行の中日新聞朝夕刊、東京新聞朝夕刊の記事全文データベースです。東海三県を中心に細かな地域版もカバーされています。収録は1987年4月1日からとっており過去の出来事調査も可能です。

ulrichsweb.com



概要

世界中で出版されている約25万誌の刊行情報、出版情報などを情報源とした Ulrich's Periodicals Directory のオンライン版です。記事単位でのキーワード検索や雑誌の購読部数や編集者情報、広告料の閲覧もできます。毎週1回定期的にデータは更新されています。

※収録は2004年6月現在の状況です。変更している場合もあります。

(電子情報係)

万博：過去と未来

小林 傳司

いよいよ来年の3月25日から9月25日まで、185日間にわたって愛知万国博覧会が開催される。テーマは「地球の叡智 (Nature's Wisdom)」である。サブテーマとして、「A. 宇宙、生命と情報 (Nature's Matrix)、B. 人生の“わざ”と智慧 (Art of Life)、C. 循環型社会 (Development for Eco-Communities)」の三つが掲げられている。明らかに今回の万国博覧会は「環境」博覧会という性格を持っていることがわかる。

しかし、ある世代以上の日本人にとって、万博といえはまず思い出すのは、1970年の大阪万国博覧会であろう。過去最大の観客数を集め、大成功したといわれている博覧会である。このときのテーマは「人類の進歩と調和」であり、シンボルタワーとして今も残っている「太陽の塔」は岡本太郎の作品であった。岡本自身は後年、「あれが作られた頃は高度経済成長期の絶頂で、日本中が進歩、GNPに自信満々の時代だった。そこへ、万国博覧会、おそらく全体が進歩主義、モダニズム一色になることは目に見えていた。そこで私は逆に時空を超えた、絶対感。馬鹿みたいに、ただどんと突っ立った「太陽の塔」を作ったのだ。」と述べている。

確かに、大阪万国博覧会は科学技術の進歩による豊かな未来を謳いあげていた。アメリカ館の目玉展示品は、前年に月に着陸したアポロ11号がもたらした「月の石」であった。他のパビリオンも、さまざまに豊かな未来を展示していたのであった。しかし、その頃、すでに日本でも公害事件が社会的な大問題になっており、反万博運動も起こっていた。万博会場の中でも、スカンジナビア館だけは環境汚染の展示一色で、異彩を放っていた。

そもそも、万国博覧会は1851年のロンドンでの開催が最初である。本来、万国博覧会は「科学技術のオリンピック」という性格を持っており、当時産業革命を通じて世界をリードしたイギリスが、自国の科学技術の優秀さを世界に顕示することが狙いで開催されたのであった。その後、ヨーロッパ各国が次々と万博を開催したことはよく知られている。

日本も幕末から出展参加しており（当時は薩摩藩などが幕府とは別に参加したりした）、明治になってからは、いわゆる岩倉使節団が1871年の末から欧米を視察した際も、1873年のウィーン万博を見物して帰国している。帰国後、大久保利通は内務卿に就任するとともに「勸業（＝工業）の建白」を出し、工部省による西洋型重工業の直輸入路線と一線を画し、軽工業を中心としたいわゆる殖産興業路線を展開する。その際に、万博にヒントを得て、上野公園で第1回の「内国勸業博覧会」（1877年）が開催されるのである。この博覧会では、日本国内のさまざまな技術を一堂に集め、近代工業の推進に役立てようとしたのであった。

こう見てくると、今回の愛知万博が19世紀、20世紀の万博とはコンセプトがずいぶん異なることがわかるであろう。科学技術の利用による物質的に豊かな社会の実現という前世紀までの万博のコンセプトは、もはや日本や欧米では説得力を持たない。1970年の大阪万国博覧会では、実用運転の始まったばかりの原子力発電所から給電され、それが売り物となっていた。今や、電力の40パーセント近くを原子力発電に依存しているにもかかわらず、愛知万博がこれを売り物にすることはありえない。今、科学技術に求められているのは、未来の物質的豊かさをもたらすことよりもむしろ、地球環境との共生に向けての手段の開発であろう。「自然の叡智」というテーマに象徴されるように、愛知万博は、地球環境問題が世界的課題となった時代における、いわば21世紀型の万博のあり方を示す最初の試みとなるはずである。

(Tadashi KOBAYASHI :
人文学部教授・社会倫理研究所所長)

参考文献：(いずれも図書館に所蔵)

- ・ The books of the fairs : materials about world's fairs, 1834-1916, in the Smithsonian Institution Libraries [MMR/606/1/v.1-v.66]
 - ・ 吉見俊哉『博覧会の政治学』中公新書 [081K/2358/v.1090]
 - ・ 日本万国博覧会記念協会『日本万国博覧会公式記録』1972年 [606/50/v.1-v.3]
 - ・ 『EXPO 伝説』メディアワークス、1999年 [606K/111]
 - ・ 朝日百科世界の歴史 第10巻 [209/101/v.10]
- ※[]は南山大学図書館の請求番号

資料紹介

図書館に新しく入った資料を2点ご紹介します。

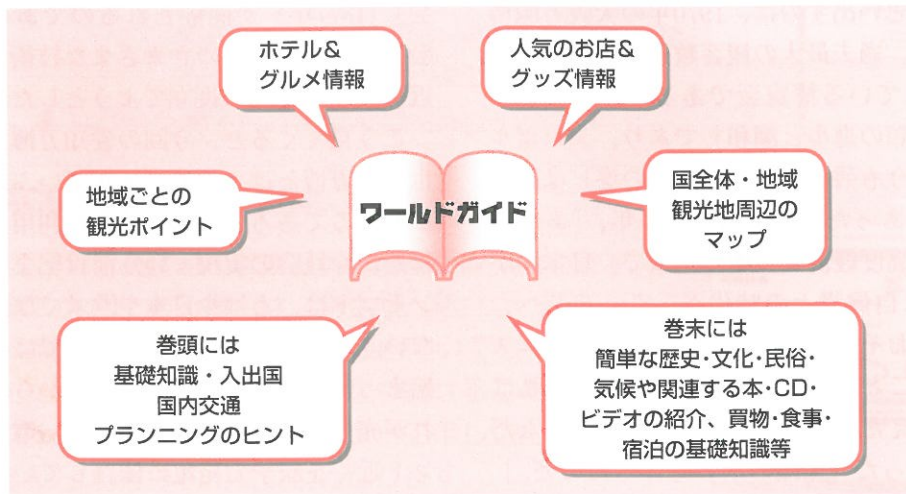
☆ガイドブックが新しくなりました!!

図書館で旅行用ガイドブックを所蔵していることをご存知ですか？名古屋図書館、瀬戸図書館ともにブラウジングコーナーに配架されています。

今回このガイドブックを国内向け、海外向けともに一新しました。

国内	i (アイ) じゃぱん (JTB) [名古屋 (BROWG/2004)]	上撰の旅 (昭文社) [瀬戸 (BROWG-L/2004)]
海外	ワールドガイド (JTB) [名古屋 (BROWG/2004)]	ワールドガイド (JTB) [瀬戸 (BROWG-L/2004)]

例えば、「ワールドガイド」には各国のこんな情報が載っています。



図書館では、多くの国・地域についての理解を深めるきっかけになるようにガイドブックを所蔵しています。旅行・留学・ホームステイの事前準備としてはもちろん、興味ある国・地域の情報収集としてガイドブックを手にとってみてください。

そして、その国の文化や歴史についてさらに詳しい情報が知りたくなったら…

➔
それもやはり
図書館にお任せください！

豊富な資料があなたのご利用をお待ちしています。

以下の視聴覚資料をはじめ、図書資料も多数そろっています！

- ユネスコ世界遺産 (290F/113/v.1～v.33：視聴覚ライブラリー)
- JTBの海外美術館紀行 (700F/47～51：視聴覚ライブラリー)
- アジア古都物語 (D/220L：瀬戸図書館 マルチメディアルーム)
- 大自然スペシャル (P/400L：瀬戸図書館 マルチメディアルーム)

なお、ガイドブックの館外貸出はできません。図書館内でご利用ください。

【復刻版】女性のみた近代 (全25巻)

(ゆまに書房)

請求番号 367.2/1355/v.1 ~ v.25 [名古屋図書館 B1F 書庫]

女性にとって近代とはどのような時代であったのでしょうか？

富国強兵政策のもと、侵略戦争へと向かいつつあった日本。女性たちは家父長制家族制度の下で権利を抑圧され、参政権も認められていませんでした。良妻賢母教育により、性別による社会的役割分担が一般の社会通念となっていました。また、貧しい家族の家計補助と口減らしのため出稼ぎ女工として苛酷な労働搾取にあっている女性たちが多くいました。

しかし一方で、そうした社会に疑問を感じる女性たちを中心に女性解放運動が高まっていました。近代は、自立し、主体的に生きようと格闘する女性たちの時代でもあったのです。

そんな明治から昭和にかけての時代に女性により執筆された評論・ルポルタージュ、エッセイ等のなかから、時代の証言としての価値の高い作品を集め現代によみがえらせたのがこの選集です。

「〈新しい〉女たち」「戦時下の女たち」「女と労働」「女と生活」「女と異郷」の5つのテーマのもとに女性の視点で歴史をたどり、変容する社会の中で女性たちがどのように位置付けられていったかを検証することができます。各巻のタイトル、著編者は以下のとおりです。

〈新しい〉女たち

第1巻：「恋愛の社会的意義」	山田わか
第2巻：「社会に額づく女」	山田わか
第3巻：「ひげ」	北村兼子
第4巻：「恋の潜航」	北村兼子
第5巻：「現代婦人読本」	神近市子
第6巻：「女子スポーツを語る」	人見絹枝
第7巻：「新女性読本」	河崎なつ
第8巻：「アンソロジー〈新しい〉女たち」	岩見照代

戦時下の女たち

第9巻：「戦線」	林芙美子
第10巻：「病院船従軍記」	岡田禎子
第11巻：「アンソロジー戦時下の女たち」	高良留美子

女と労働

第12巻：「鉍毒地の惨状 第一篇」	松本英子
-------------------	------

第13巻：「やとな物語」	中平文子
第14巻：「公娼制度撤廃の是非」	川崎正子
第15巻：「職場」	中本たか子
第16巻：「アンソロジー女と労働」	藤田和美

女と生活

第17巻：「紅燈の下」	下山京子
第18巻：「家庭」	下田歌子
第19巻：「私の生活と芸術」	高群逸枝
第20巻：「草魚」	長谷川時雨
第21巻：「私の雑記帳」	吉屋信子
第22巻：「アンソロジー女と生活」	岡野幸江

女と異郷

第23巻：「旅情記」	深尾須磨子
第24巻：「南方紀行」	真杉静江
第25巻：「アンソロジー女と異郷」	北田幸恵

彼女たちの著作から、近代女性が置かれていた社会的立場や考え方に触れてみてください。

図書館では女性たちに関する本を他にも多数所蔵しています。

参考図書

日本女性研究基礎文献目録
 岩波女性学事典
 近現代日本女性人名事典

請求番号 R/367/413
 請求番号 R/367.2/1234, R/367.2L/1234/A
 請求番号 R/367.2/1204

一般図書

近代女性作家精選集
 近代日本女性文献史料総覧 (他 多数)

請求番号 918/5414/v.1 ~ v.48
 請求番号 367.2K/872/v.1 ~ v.13

(Junko HORIO：受入係 堀尾 純子)

南山大学図書館 秋の企画展

The Scenes of "Sports" スポーツのある情景

瀬戸図書館

期間 2004年10月18日(月)～10月24日(日)
時間 9時30分～閉館時間まで
会場 瀬戸図書館 ブラウジングコーナー 横
 ※10月24日(日)は図書館休館日ですが、企画展のみ
 入場できます。(10時～16時)

名古屋図書館

期間 2004年10月26日(火)～11月6日(土)
時間 8時45分～閉館時間まで
会場 名古屋図書館 1階ブラウジングコーナー
 ※10月31日(日)、3日(祝)は図書館休館日ですが、企画展のみ
 入場できます。(9時～16時)

図書館の新しい魅力を知ってください!

秋学期 図書館利用講習会のお知らせ

春学期に引き続き、秋学期も図書館利用講習会を開催します。
 図書館の使い方や資料の探し方、卒業論文の作成に役立つ論文の検索方法など、今後の
 学習・研究に大いに役立つテクニックが身に付きますよ!ぜひご参加ください。

開催期間 10月1日(金)～11月30日(火) (ただし土曜日を除く)
所要時間 60～90分 人数・内容・時間などご相談に応じます。
申込場所 受講を希望するキャンパスの図書館レファレンス・カウンター

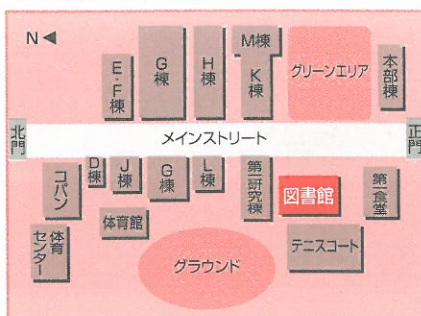
個人でも、ゼミ・講義単位でも申し込みできます。詳細は申込時にお尋ねください。

《お詫びと訂正》

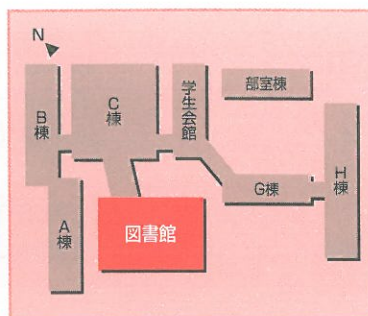
前号(No.45)掲載記事『南山大学図書館FAQ』の中の、「学園中高校短大生は取り寄せできない」という記述に誤りがありました。
 南山短期大学図書館と大学図書館の間では、2003年4月から取り寄せサービスを開始していますので、ここにお詫びし訂正いたします。

《編集後記》

2004年8・9月名古屋図書館において耐震工事が行われました。利用者のみなさまにはご迷惑をお掛けしましたが、今後もどうぞよろしくお願い致します。



<名古屋キャンパス>



<瀬戸キャンパス>

南山大学図書館報 デュナミス No.46

2004. 10. 1 発行

<http://www.nanzan-u.ac.jp/TOSHOKAN/>

発行: 南山大学図書館 広報委員会

編集委員: 上田、石田、村上

印刷: 一誠社

〒466-8673 名古屋市昭和区山里町18

Tel: 052(832)3707/Fax:052(833)6986

※図書館HP(上記URL)でもご覧いただけます。